

最近はいよいよ製剤花盛りで、学会セミナー、各地域単位での講演会、webセミナーなどで講演を聴く機会が多い。学会を運営する側にしてみたら共催セミナーがたくさん入るのはありがたいのだが、昨今製薬協の規制がますます厳しくなっている。昔はお金だけ出して口は出さないという寛大な姿勢でいてくれたが、いまは「お金を出す以上口を出すのが当然」といわんばかりにかなり突っ込んでくる。演者の指定や講演内容はもちろんのこと、中にはスライド一式を用意されることもあり、ここまでくると誰が話しても同じだろうと思ってしまう。各々の製薬会社内には、文献集めやスライド作成、いろいろな企画を考える専用の部署ができ、中には学会の共催セミナーの抄録まで作るところもある。以前、断るのも悪いと思い作成してもらったものをチェックしたが、案の定直すところがだいたいあり、これなら最初から自分でやればよかったと思った。

スライドは、作った会社側からするとできるだけいろいろな場面で使って欲しいので多くの演者に配布するが、同じようなスライドばかり見せられる側はたまったものではない。かといって、提供されたものをまったく使わないのも気が引けるので、いくつかは使用しながら、気を遣ってその会社の薬が効いた症例を提示することが多い。1例効いたからすべての症例に効くわけではないことくらい、聴いている側はもちろんわかっているのだが、それが誇大広告に該当するのか、今後はできなくなるらしい。だとしたら、他社の製剤が効いた症例を提示して、ライバル製品が効いた症例をお互いに紹介しあうのも面白いかもしれない。これからはテレビの通販番組と同じように、「個人の感想です」の1行をスライドに入れてやろうかとも思うが、もうお呼びがかからなくなりそうである。(T.Y.)

特集 色のついた皮膚病(黒)(仮)

◆topics

リボフスチンはアポクリン汗腺腫の色調に関連する 北村 真也

◆統計

当科における多発基底細胞癌の統計 滝吉 典子ほか

◆臨床例

HPV型検索を施行したbowenoid papulosisの3例 鈴木 瑛子ほか

腋窩、鎖骨上リンパ節、肺転移をきたした 谷口 孝司ほか

右側胸部原発基底細胞癌

高圧酸素療法が著効した下肢温存できた 福島 英彦ほか

壊死性軟部組織感染症

足壊疽に対しマゴットセラピーを施行した 竹本 啓伸ほか

抗セントロメア抗体陽性全身性強皮症

Congenital melanotic macules of the tongueを疑い 井藤 遥ほか

経過観察中の症例

脂漏性角化症の病変内に生じた基底細胞癌 岡田 寛文ほか

カルシフィラキシスの関与が疑われた下腿混合性皮膚潰瘍

池田 智行ほか

会陰部に発症したHPV16型陽性のBowen癌 鎌田 啓文ほか

手指の疣状結節を伴った黒色表皮腫 菊池 瞳ほか

通常の鍼治療によって生じた限局性銀皮症 東田 理恵ほか

当院で経験したカルシフィラキシスの2症例 鶴町 宗大ほか

Malignant melanoma in situの2例 大原満梨奈ほか

Clear cell hidradenoma 大矢 和正、田口詩路麻

両側のnevroid hyperkeratosis of the nipple and areola 布袋 祐子

色素性病変に対するoblique-view dermoscopyの実践と有用性 石黒 暁寛ほか

臍部に生じた悪性黒色腫 金本 麻裕ほか

川嶋 利瑞

◆皮心伝心 神人 正寿

◆私の視点

◆学会ハイライト

第71回日本皮膚科学会西部支部学術大会 佐野 栄紀

◆診察室の四季 斉藤 隆三

◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥

◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 41, No.11(2019)

令和元年10月25日印刷

令和元年11月1日発行

1部定価2,800円(本体)+税 送料別

年ぎめ予約購読料39,000円(本体)+税

発売所／丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 斉藤 隆三

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3

ワールドインポートマートビル8階

電話：03-5979-1400(代)

振替口座：00190-0-36746

印刷所 株式会社 エイチケイ グラフィックス

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2019年

・JCOPY <(社) 出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。